

累積報告数・累積定点当り報告数、疾病、都道府県別

2018年35週(08月27日～09月02日) 2018年09月06日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	267	0.05	6609	2.11	995	0.32	3772	1.20	11185	3.57	551	0.18
山梨県	-	-	9	0.38	-	-	19	0.79	51	2.13	3	0.13
中北	-	-	4	0.50	-	-	7	0.88	21	2.63	2	0.25
中北峡北	-	-	1	0.20	-	-	6	1.20	4	0.80	-	-
峡東	-	-	3	0.75	-	-	3	0.75	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-
富士・東部	-	-	1	0.20	-	-	3	0.60	22	4.40	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		7～4	
【注意報レベル】	10										4	

2018年35週(08月27日～09月02日)コメント

ヘルパンギーナは依然として中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内で報告数が多くなっています。ヘルパンギーナはいわゆる夏かぜの代表的なウイルス性疾患です。接触、飛沫により感染しますので、手洗い、うがいを励行しましょう。

流行性角結膜炎は、富士・東部保健所管内でやや多い報告数となっています。ウイルスの付着した手指やタオルなどを介して接触により感染するため、十分な手洗いを心がけ、タオルの共有は避けましょう。

夏休み期間中に海外へ渡航され、帰国後に発熱や下痢などの症状が出た方は、病院受診の際に渡航歴を必ず伝えてください。不明な点がありましたら、最寄りの保健所にご相談ください。

【今週の警報】：なし

【今週の注意報】：なし

山梨県集計(2018年35週(08月27日～09月02日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎 2.13 / 定当
ヘルパンギーナ 1.83 / 定当

全国集計(2018年35週(08月27日～09月02日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎 3.57 / 定当
RSウイルス感染症 2.11 / 定当
ヘルパンギーナ 1.70 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1.20 / 定当
手足口病 1.17 / 定当

保健所別で報告が多い疾病順(2018年35週(08月27日～09月02日))

感染性胃腸炎 富士・東部 4.40 / 定当
ヘルパンギーナ 富士・東部 4.80 / 定当

2018年35週(08月27日～09月02日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	110	0.23	4	0.01	9	0.02
山梨県	5	0.50	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	5	2.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】